

# 委員会審査の報告

(3月定例会で委員会に付託された議案の審査を行いました。)

## 総務企画委員会

委員長 松徳 憲二

《令和4年度大洲市一般会計予算》

### ◆地域公共交通対策事業

**説明** 平成30年度から実施している、デマンド交通実証運行に係る経費を計上している。

**問** デマンド交通実証運行・本格運行の進捗状況は。

**答** デマンド交通は、本格運行を豊茂と南久米地区で開始し、また実証運行を久米、上須戒、五郎、柳沢・新谷地区で実施しており、今坊地区は実証にあたって調整中である。今後は、平野、菅田・大川、脇川・河辺地域と実証に向けて協議したい。

**問** 事業推進に係る課題分析は。

**答** 課題の解決や推進方法は検討中である。本事業は、登録者は多い反面、利用者は少ない地区もあることから、利用状況を地域に示しながら、お互い声を掛け合い利用していただくよう促進している。

運行については、スクールバス運行事業者やタクシー事業者などに依頼しているが、スクールバスの空き時間における運転手対応や、車両の問題など運行事業者の確保も課題となっているため、地域内での運行体制の確保に向けても模索中である。

### ◆長浜高等学校生徒応援事業

**説明** 長浜高校の維持存続を図り、地域の教育振興や活性化を推進するため、高校と地域が入学生増加に向けて取り組む事業を支援するもので、長浜高校で下宿する生徒の家賃や入学時の初期費用など、保護者の負担軽減に要する補助金を計上している。

**問** この補助金は、毎年度予算要求するのか。

**答** 予算の内容は、下宿に係る備品整備と家賃、入学支度金である。そのうち備品は、下宿生活をする生徒が卒業した後も引き続き維持管理する。家賃は対象の生徒が在学中は継続して必要となる。また入学支度金は、入学年次のみ必要となる。

**問** 今回、分校化の危機は乗り越えたが、今後他の学校から同様な支援要望があれば、同じような対応をするのか。

**答** 今後、他の学校が分校化の危機になった場合は、同様の支援を検討すべきと考えている。

## 厚生文教委員会

委員長 武田 典久

《令和4年度大洲市一般会計予算》

### ◆保育所等ICT化推進事業

**説明** 国の補助事業を活用し、保育所等へのICTシステム導入やその使用料1,742万1,000円を計上している。

**問** ICT化は保育所等の事務の効率化だけでなく、一部の私立幼稚園で採用しているような登降園記録のデータ管理も行うのか。

**答** このシステムでは、登降園時に保護者がQRコード等を機械で読み取り、出欠状況の一括管理を計画している。また、事務処理においては、園児の個人記録や保育日誌など、保育所内で情報共有できるシステムを考えている。

**要望** コロナ禍で保護者の手間も非常に増えているため、DXを活用して負担の軽減になるよう努めてほしい。

### ◆猫不妊去勢手術費補助金

**説明** 猫の無秩序な繁殖の抑制と動物愛護及び適正管理を図るため、手術費用の一部を助成するもの。

**問** 想定頭数や補助金額等の詳細は。

**答** 当該事業は猫の繁殖制限に対する不妊・去勢の取組として、県の補助制度を活用して実施するもので、飼い猫は1世帯につき1匹と限定し、去勢は上限2,000円とし10件を、不妊は上限4,000円とし15件を想定している。

また、飼い主のいない猫、いわゆる地域猫や野良猫は、去勢を上限4,000円、不妊を上限8,000円とし、不妊・去勢ともに25件を想定している。

#### 大洲市猫不妊去勢手術補助事業の概要

##### ◆補助対象の要件◆

- ①申請者が大洲市在住(本市に住民登録がある)であること
- ②愛媛県内で開業している動物病院で手術を行った猫
- ③飼い猫は、年度内1世帯1頭限り
- ④飼い主のいない猫は、本市内で保護した猫で、  
鑑別のための耳カットを施した場合に限る。



##### ◆対象期間◆

令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)

※先着順で受付し、申請額が予算額に達した時点で受付終了

##### ◆補助金額◆(1頭あたりの上限)

飼い猫	オス2,000円	メス4,000円
飼い主のいない猫	オス4,000円	メス8,000円

※手術費用と比較して少ない方の額

##### ◆申請方法◆

- 窓口申請 8:30～17:15(土日・祝日・年末年始を除く)
- 環境生活課へ補助金交付申請書(請求書)を提出

※詳しくは、市役所環境生活課(57-9966)にお問い合わせください。